



# 御坊のくま子



## 「御坊」の「五望」

御坊市では五つの望みをお菓子にしました。  
大切なあの人に御坊に秘められた無限のパワーを分かち合い、実感して頂ければ幸いです。

 <p><b>学 (まなぶ)</b> 菓子名『紀州御坊の天神さん』</p> <p>子供たちの成長を祈り節句にお祝いとして雛人形や五月人形を贈る風習があります。御坊や日高地方周辺では「御坊人形」という独自の人形文化が伝わってきました。その中でも学問の神様である菅原道真公の「天神人形」は多くの家庭に贈られ広く一般にも親しまれてきました。明治初期ごろから「御坊人形」は職人が代々制作を受けついできましたが、現在は後継者が途絶えてしまいました。「紀州御坊の天神さん」は天神人形の形を模し、中にはこぼろあんを包んだ焼き菓子となっております。このお菓子をお召し上がり頂いて学力が上がりますようにと願いを込めて作っています。</p> <p>※(御坊人形)は和歌山県郷土伝統工芸品に指定されています。</p>	 <p><b>健 (健康・長寿)</b> 菓子名『お美堂さん』</p> <p>御坊には、歴史豊かな、お寺や神社が多くあります。昔、熊野三山を目指して、熊野古道を歩いた参拝者が立ち寄った『光寿寺』には、新日本の名木百選、県指定天然記念物の樹齢600年以上と推定されている柏椏(びやくしん)があります。</p> <p>又、御坊の名前の由来となった浄土真宗本願寺派日高別院には、樹齢400年以上の、県指定天然記念物の大黒杏があり、心と体の癒しのパワースポットでもあります。</p> <p>当店で、健康、又長寿を願い、日高別院の大黒杏をイメージした「お美堂さん」を作りました。健康でいてほしい大切な方へ贈り物としてもご利用ください。</p>	 <p><b>金 (金運)</b> 菓子名『太鼓樓』</p> <p>御坊の地名由来は、日高御坊所と称された浄土真宗本願寺派の日高別院からで地元では御堂さんと呼んで親しまれております。</p> <p>江戸時代に門徒が二人が当てる千両當くじをもとに本堂を再建しました。</p> <p>本山の建築様式に倣い別荘としての格式の高さを伝えています。</p> <p>境内にある太鼓樓をモチーフにしたお菓子「太鼓樓」。このお菓子をお召し上がり頂き、金運が上がりますようにと願いを込めて作りました。</p>	 <p><b>美 (富子という女の子の物語)</b> 菓子名『富子』</p> <p>西暦700年頃、御坊市吉田八幡山周辺の小さな漁村で生まれた富子という女の子には大きくなって髪が生えませんでした。</p> <p>富子の母親が海産物に沈む小さな観音様を見つけ「娘の髪が生えようように」と願をかけると不思議な事に黒髪が日に日に長くなってきました。その髪の毛をつぼめがくわえ、奈良の都へ飛んでいき、藤原不比等の屋敷に集を作りました。集から垂れ下がる長い髪を見つけた不比等が宮を築き出し美女を迎え「富子」と呼ばれるようになりました。やがて富子は文武天皇の妃となり、聖武天皇の生母となりました。このお菓子を富子の美しさを表した艶やかな乳菓で作りました。このお菓子をお召し上がり頂くことで美しくなり、願いが叶うようにと願いを込めています。</p>	 <p><b>結 (むすぶ)</b> 菓子名『夢くるる』</p> <p>御坊の偉人の一人に故和田勇(フレッド イサム ワダ)がいます。1964年東京オリンピック招致に尽力された方です。和田氏はアメリカで移民二世として生まれ、父の故郷である御坊市に帰国し幼少期を過ごした後、アメリカに戻り実業家として成功され、日本とアメリカの架け橋となりました。和田氏は太平洋戦争が始まり、2つの祖国の間で胸を痛めました。その後両国の友好をオリンピックを通じて結びつけました。その不屈の精神はふるさと御坊で培ったものです。異国の地でオリンピック開催の夢を現実させた男。『夢くるる』人と人をつなぎ、日本中に夢を与えてくれました。そんな想いをお菓子に込めて…</p>
--	---	--	--	---

ふく田

湖月堂

メルヘン

幸栄堂

ボナペティヤナギヤ